3
March 2014
No.695

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 巻頭言（理事　井上 裕邦）……3
- 理事会 ……4・5
- 委員会報告 ……6～8
  （医療対策、学術）
- 国保報告 ……9・10
- 特集 第3回熊本城マラソン ……11～13
- 郡市会報告 ……14～17
  （山鹿、阿蘇、熊本、球磨、宇土、玉名、菊池、荒尾）
- 寄稿 ……18・19
- 会務報告 ……21・22

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人 日本歯科医師会

表紙に寄せて

熊本城マラソンは公務員ランナーの川内優輝選手（埼玉県庁）が2位に12分以上の大差をつけて優勝した。昨年は30キロの部で初優勝、今年のフルマラソンの部は初出場で、2部門を制覇した。（国立病院付近で撮影）　（H.K）

変わりゆく「Basic」に対応した講演会を企画

理事　井上　裕邦

今期より学術担当理事をさせて頂いておりますが、会員の皆様には学術講演事業におきましてご協力頂き、ありがとうございます。

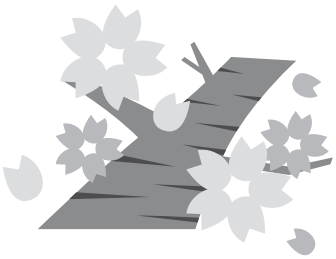
今期の学術事業は「Back to the Basic」をテーマにし、基礎歯科医学や基本的歯科治療の再認識を大切にした講演会を企画しております。しかし、「Basic」は変わらないものと新たな歯科材料、技術革新において変化していくものがあるかと思われます。例えば、私が歯科医師になって20年余りになりますが、その頃はインプラントを手掛けている会員も少なく、また術前の審査も画像としてはデンタルX-rayとパノラマしかなかったかと思います。その後インプラントの需要が増え、なかには難症例のケースもあり、医科にCT撮影を依頼し対処した時期もありました。それから歯科用CTが普及し、すべてのインプラント処置の術前審査にCT撮影を行い、万が一の事故が起こった際、撮影してなければ術者側の問題とされるようになりました。しかし、厳しい歯科業界で、CTなどはやはり高い設備投資です。それに対応するため、平成24年度に学術委員会では正確で、簡単に撮影依頼できるように「CT撮影ネットワークシステム」を作成しましたのでご利用ください。

このように「Basic」は少しずつ、または劇的に変わる場合があります。これに対応するには学会、講演会、勉強会などに積極的に出向き情報収集しなければなりませんが受講料も様々です。歯科医師会主催の学術講演会は無料です。講演を聴いてすぐ出来る事ばかりではないかもしれませんが、会員の皆様の診療のヒントに、何かひとつでもなればと考えております。

ネット社会の発展により患者側も簡単に歯科における知識を得られますが、都合のいい断片的な知識の患者が多く、その方々にはエビデンスに基づいた正しい説明が必要かと思います。変わらない基礎歯科医学や基本的歯科治療と共に、変わりゆく「Basic」にも対応した学術講演会をこれからも企画していきたいと考えております。

また歯周病と糖尿病の関連、歯周病と早産の関連性などかなり解明されたこともあり、前期の椿理事のもと関連性をわかりやすく患者に説明するためのパネル「歯周病と全身の関係」を作成しましたのでぜひご利用ください。地域保健委員会など他の委員会とも連携し、縦割りではなく県歯全体として医科歯科連携をより強化して行政や県民にアピールすることにより患者への受診行動を起して行きたいと思っています。

最後に熊本県歯科医師会で進めております安心・安全歯科医療推進制度の運営委員として会員のためになる事業であり続けるよう制度を確立し県民、行政へしっかりアピールしていきたいと考えております。是非学術講演会に積極的に参加され基準達成証を取得して頂きたいと思います。残りの任期を会員の皆様のお役に立てるよう頑張りますのでご指導ご協力の程宜しくお願いいたします。



理事会報告

今回の改定率は、＋0. 12％

― 第９回理事会 ―

２月26日（水）午後７時より県歯会館第１会議室において浦田会長ほか全役員、伊藤学院長、代議員会より中村議長、市原副議長出席のもと、議長を浦田会長、議事録署名人を久々山、西野両監事として、第９回理事会が開催された。

１．開会：小島副会長
２．挨拶：浦田会長

２月の最終週ですので、診療報酬改定については、中医協で議論された答申書に沿って、最終的な通知が決まる時期です。詳細については、後程、都道府県会長会議の報告の中でお話しいたしますが、今回の改定率は、＋0.12％で財源にすると約30億円余りであり、再診料を１点上げるのと同等であるということです。そういった状況ではありましたが、日歯の尽力により、我々が進めているがん連携や在宅医療連携に点数の貼り付けがなされ、今後、ますます医科歯科連携の重要性を感じております。

もう１点、都道府県会長会議の中で、日歯の将来像について話があり、現在の会員数が６万５千人を少し切る位ですが、現在の状態のままですと2050～60年には現在の４割位の会員数になるであろうとのシミュレーションが出ています。今までは男性歯科医師が多かったのですが、現在、歯科大学を卒業する方々の男女比は概ね１対１だと聞いております。歯科医師会への入会率は男性が約７割であるのに対し、女性が２割に満たないとのことです。本県では今のところ女性の入会率が83％ですが、今後も男女を問わず歯科医師会に入会し一緒に活動していただくようアプローチする事が今以上に必要であると思います。

本日は３月の臨時代議員会に向けての理事会で、代議員会の議長・副議長にもご出席いただいております。お二人のご意見も踏まえながら、代議員会がスムーズに進行出来ますようご協力の程よろしくお願いいたします。

３．平成25年度会務報告：

（自：１月27日～至：２月23日）

本会総務：理事会、常務理事会、本会事業・会計監査、各郡市災害対策担当者会、九地連協議会、中規模県歯会連合会会議、都道府県会長会議、九州地方社会保険医療協議会熊本部会、県災害医療提供体制検討委員会
学　　術：松風共催学術講演会

社会保険：点数改定説明会、電子レセプト請求説明会
地域保健：標準的な成人歯科健診モデル事業
広　　報：テレメッセ
学校歯科：学齢期歯科保健講演会、全国学校歯科保健研究大会実行委員会
医療対策：医療相談苦情事例報告
センター・介護：県障がい児（者）歯科保健推進協議会、在宅歯科医療推進事業施設実習
総務･厚生･医療管理：がん医科歯科連携事業
学　　院：入学試験
国保組合：国民健康保険指導監督

以上、各担当役員より報告がなされた。

４．報告事項：

１．退会会員
・國芳 秀晴 会員
（第３種会員／伊東歯科口腔病院）
１月31日付け退職のため

２．表彰
・日本歯科医師会会員有功章
伊東 隆利 会員（熊本市）
表彰式：３月14日（金）
第175回日歯臨時代議員会２日目
於・日歯会館
・熊本県知事表彰
松岡 拓治 会員（菊池郡市）
表彰式：３月24日（月）於・県庁

３．本会終身会員（平成26年度より種別変更）
牧野 敬美 会員（熊本市）
片山 幹夫 会員（熊本市）
菅原　　洋 会員（熊本市）
岡田 知久 会員（熊本市）
中野 敬輔 会員（宇土郡市）
工藤 紘喜 会員（玉名郡市）

矢毛石 陸男 会員（上益城郡）
中津留 豊 会員（八代）
田崎 日出夫 会員（天草郡市）

４．国保組合の保険料

国保組合の運営が財政面において非常に厳しい状況となっているため、３月の通常組合会に所得割の再導入を議案として提出する。また、自家診療についても更なる制限を行う。

５．傷害保険の改定に伴う募集プラン

保険料率等の改定に伴い、次年度について、死亡・後遺障害の保険金額は減額となるが、個人賠償責任の保険金額は変わらないため、今年度と同一保険料のプランで募集する。

６．県がん患者医科歯科医療連携事業講演会の参加者

１月11日（土）熊本市医師会館において開催された標記講演会の参加者の内訳について、報告がなされた。

７．平成26年度定期健康診断・特定健康診査・特定保健指導

昨年度と同様の健診機関・内容で実施する。健診料は健診機関の取り計らいで、４月より消費税増税となるが据え置かれる。

８．日歯からの「平成25年分所得税青色申告決算書」の調査依頼

日歯からの依頼により、各常任委員会の担当理事並びに委員へ調査票を送付し、協力を要請する。

９．第77回全国学校歯科保健研究大会第２回実行委員会の報告・協議事項

２月17日（月）に行われた実行委員会の内容と大会の収支決算について報告がなされた。

10．委員会事業企画

『全国共通がん医科歯科連携講習会』
（５月11日）

11．委員会事業実施報告

学校歯科委員会：『学校歯科医のための「フッ化物洗口の講演会」研修会』（２月５日）

12．会計１月末現況

13．その他

○中嶋副会長より、他県での保険医療機関取消事例、本県での保険医療機関等指定・更新について報告がなされた。
○浦田会長より、都道府県会長会議報告として、診療報酬改定の概要、医療提供体制の改革のための新たな財政支援制度、日歯会員数の将来シミュレーション、医療機器等開発事業意見聴取会等について詳細な説明がなされた。

５．連絡事項：

１．３月行事予定

２日（日）の県警察歯科医会研修会について参加呼びかけが行われた。

６．承認事項：

１．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼〔承認〕

・生活保護医療扶助業務に従事する歯科嘱託医／県健康福祉部長寿社会局社会福祉課
西野 隆一 監事
任期：平成26年４月１日～平成27年３月31日

７．議題：

１．平成25年度臨時代議員会日程資料及び当日のタイムスケジュール〔承認〕

原案どおり承認した。さらに、当日のタイムスケジュールについても原案どおり進行していくこととした。

２．平成25年度臨時代議員会の会務報告〔承認〕

一部修正し承認した。その他追加・訂正があれば、代議員会日程とともに28日（金）に代議員へ送付する関係で、27日（木）午前中までに事務局へ連絡することとした。

３．平成25年度会員懇談会の会務報告〔承認〕

一部修正し承認した。

４．事務局文書管理システム一式の入れ替え〔承認〕

現行機器の状況、WindowsXP等のサポート終了や消費税増税等を勘案し、新しいシステム一式へ入れ替えることとした。なお、見積提出のあった３社から総合的に検討して、現行の導入業者に再び依頼することとした。

５．契約電力会社の見直し〔保留〕

電気料金の支払が増えてきているため、契約電力会社の見直しについて、今後も様々な情報を収集し前向きに検討することとした。

６．フッ化物洗口の県民啓発ＤＶＤの配付先〔承認〕

原案について一部修正し、配付することとした。

８．協議事項：

１．終身会員・名誉会員・顧問及び嘱託に関する規程並びに表彰規程の見直し

現行の代議員会における古希会員表彰について見直しを行うため、諸規則・規程改正検討臨時委員会で規程の見直しを検討してもらうこととした。

さらに、３月末で熊大口腔外科を退官される篠原教授には、本会事業に対する貢献度を考慮して感謝状を贈呈することとした。

９．監事講評：

久々山監事より、事業を行う上では、執行率を常に念頭に入れ、見直せるものは見直して欲しいとの要請がなされた。

西野監事より、事業を行う上では、いつまでに仕上げるという期限を設ける気持ちで取り組んで欲しいとの要請がなされた。

10．閉会：中嶋副会長

（広報　加藤　久雄）

委員会報告

潜在的クレームを作っていないだろうか？

— 医療対策講演会 —

医療対策

12月７日（土）午後４時より、県歯会館において、ファイアースポット代表　桑原たか子講師をお招きし、「さわやかな接遇を目指して～潜在的クレームを作っていないだろうか～」と題して、歯科医師及びデンタルスタッフを対象に講演会が開催された。

多数のデンタルスタッフが参加

191名参加の中、宮坂副会長の挨拶の後、冨屋理事より平成24年度医療相談苦情についての分析、検討の結果から、各診療所における患者に対する説明不足や歯科医師、スタッフの応対態度等、接遇に関する事柄が、苦情事例発生原因の大部分を占めているとの報告がなされ、その結果に基づき本講演会の開催趣旨説明が行われた。

その後、桑原講師による講演が始まった。20代にバリバリと仕事をしていた頃のエピソード、その後結婚され、４人の男の子の子育て奮闘記から現在についてご紹介をされた。

子育奮闘記も紹介

潜在的クレームを予防するためには、①ハード面、衛生環境面　②スタッフ個人の感性、接遇スキル　③職場のコミュニケーション、フォローシップ　が重要であり、患者の心理を少しでも理解することの大切さやその時によって人それぞれの感情のコップがあり、それが溢れ出した時にクレームへと繋がると話された。

その後、エゴグラム分析を実施し、CP（厳しさ）NP（優しさ）A（論理性）FC（奔放さ）AC（協調性）の５つに分類し、性格診断を行った。

また、２名ずつのグループに分かれ、好感を持たれる言葉遣い、クレームの初期対応、二次対応について演習し、コミュニケーション能力、チームワークの大切さの必要性などを実感できた。

講演で学んだことを、すぐ仕事に生かしていけるような非常に有意義な内容であった。

（医療対策　冨屋　栄祐）

委員会報告

総勢213名が参加

― 熊本県歯科医学大会 ―

学術

１月26日（日）午前10時より、県歯会館４階大ホールにおいて、第18回　熊本県歯科医学大会が開催された。今回は、「修復治療の変遷、そしてこれからの歯科治療を考える」と題して、金属焼付けポーセレンの開発者である愛歯技工専門学校校長・クワタカレッジ校長の桑田正博氏の講演が行われた。世界的に著名な先生という事もあり、歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士など沢山の参加があり、総勢213名で４４階ホールは満席であった。初めに浦田会長により開会の挨拶があり、次に司会の堀川委員長より講師の略歴の紹介があり講演に入った。

講演は、桑田氏がアメリカに留学したときの、羽田空港で行われた壮行会の貴重な写真のスライドから始まった。1962年に「日本の歯科界レベルアップのためにアメリカに行ってみないか」と鹿毛俊吾氏（愛歯技工専門学校の創立者）に声をかけられ、弱冠25歳でニューヨークに単身で留学された。当時、アメリカへ渡米する日本人は少なくアルバイトをしながら生活費を稼ぐなど大変苦労されたとのことであった。そんな中ある時女性歯科技工士Gerry Katzの講演会に参加する機会があり、これが縁となり今や世界中の歯科界で当たり前の技術Ｐ・Ｆ・Ｍ（Porcelain Fused to Metal：金属焼付陶材冠）の開発メンバーに加わる事となった。そして、Gerryの夫Sigmund Katz（科学者）らと共にP・F・Mの開発を成し遂げられた。スライドでは、当時の研究室の様子や研究風景の写真が沢山紹介され大変苦労された様子がうかがえた。先生の好きな言葉に、哲学者である森信三の“人は生涯のうち逢うべき人には必ず逢う　しかも、一瞬早かりもせず、遅かりもせず”をご提示され、まさに人生を変えた出会いが、Katz夫妻との出会いであったとの事であった。

Ｐ・Ｆ・Ｍ開発後は、アメリカ、ヨーロッパ等、世界中に講演して回り世の中に広められた。日本での発表は、1966年に大阪と名古屋で講演したのが最初ということでスライドでは超満員の前で講演されていた当時の写真をご紹介いただいた。

昼食を挟み午後からは、まず支台歯形成と印象採得について講演が行われた。支台歯の形態では、マージンの位置設定やテーパーについて説明があった。そして、ポーセレンサポーティングストラクチャーの説明では、咬頭・切端部では極力丸くするポーセレンサポーティングカーブを、さらにポーセレンサポーティングエリアを的確に付与することでセラミックを割れにくく出来るとのことであった。次に、審美に関しての話では、築盛法、シェードテイキング等の解説があり、実際に手がけられた有名女優の症例写真が呈示された。また、咬合に関しては、1960年代から1980年代にかけて、C. H. Schuyler, Dr. P. K. Thomas, Dr. S. S. WagmamそしてDr. R. S. Steinらと臨床を共にする中で、彼らの臨床的な要求に応えるために工夫し進化させてきた考え方であるFunctionally Disoccluded Occlusion（F. D. O）について説明があった。F. D. Oセオリーとは、適正な（患者固有）顎機能を探り、頭蓋と顎、顎と歯列、歯列（歯牙形態）と周辺組織との生理的な関わり方を基とし、顎機能を妨げない“上下歯の当て方と離れ方を計画する”考え方とのことである。次に、フルマウスの症例を通して、半調節性咬合器上での実際の技工操作（ワックスアップ、ポーセレン築盛、咬合調整）の解説が行われた。次に、桑田氏とDr. Katzの対談でP・F・M開発のあゆみから今後の歯科界の将来について貴重な映像記録が放映された。休憩の後、質疑・応答が行われ、ラミネートベニアのマージン設定についてや、ポーセレンサポーティングストラクチャーを詳しく知りたいなどの質問があった。

生涯で逢うべき人には必ず逢う

最後に桑田氏は、「まだまだ一所懸命研究し、あと22年は現役で頑張る」と力強く言われた。世界的に有名な先生から、歯科界の歴史を勉強できたことは、我々のこれからの歯科医師人生において、必ずプラスになると思えるとても有意義な時間であった。

（学術　片山　晃紀）

委員会報告

はずれない総義歯、印象採得から咬合調整まで

— 学術講演会 —

学術

2月9日(日) 午前10時より、県歯会館4階大ホールにおいて、千葉県でご開業の村岡秀明氏を講師にお迎えし、ムービーケースプレゼンテーション「はずれない総義歯、印象採得から咬合調整まで」と題して学術講演会が開催された。本セミナーはメーカータイアップによる講演会で、今回は松風との共催で行われた。折しも首都圏では45年ぶりの大雪となり、空路の欠航が相次ぎ一時講師の来熊が危ぶまれたが、講師ご本人と松風の方々のご尽力により予定通り開催することが出来た。本会176名、松風申込み42名の計218名の参加のもと、浦田会長から一時はどうなるかと気を揉んだが無事に開催でき安堵している旨の開会の挨拶がなされた。講師紹介の後、早速講演会が開始された。

よく吸着する義歯は、形が決まっている

今日の話は講義ではなく、ケースプレゼンテーションと思って聞いて欲しいなどの前置きの後、義歯のお師匠さんは天然歯であり、ここ50年もの間、義歯の原理原則は変わっていないとされ、まず、1か月前に他医院で製作した吸着不良義歯の症例を提示し、辺縁の決定方法や基本的な考え方、印象の方法などビデオを用いながら詳しく説明がなされた。すなわち、①咬合に異常がなければ、まずコピーデンチャーを作製し、②これを用いて辺縁形成および最終印象と同時に咬合採得を行う。ここでよく吸着する義歯はどの症例でも形が決まっている。どんな形かまず頭に入れることが重要と強調された。③人工歯配列のポイントや完成義歯の調整の手順など手書きの図を用いながらとても分かりやすく説明された。

熱い講演会であった

その後も数症例を供覧され、抜歯から増歯を行う場合の手順や上下総義歯の症例を用いての下顎義歯の吸着のためのポイント、さらに適合が良いにも関わらず疼痛を訴えられる場合の調整の勘所、コピーデンチャーを用いることの利点や各ステップの注意点などを数多くのビデオを用いながら詳細な解説をされた。

午後からは、咬合に問題のある症例の咬合採得の実際、さらに10年前にご自身で製作された症例を用いての治療法の変遷や人工歯配列の手順をステップ毎に解説され、また使用する粘膜調整材料、印象材、人工歯などの紹介を交えながら繰り返し解説された。

昼休みや質問の時間を割愛しての盛りだくさんの熱い講演に、参加者一同席を立つことなく最後まで熱心に聴講され、あっという間に5時間が過ぎ、大変有意義な時間となった。最後に、井上学術担当理事より謝辞があり閉会となった。

（学術　堀川　　正）

国保報告　負担金の重圧に苦慮

— 九歯連協議会 —

１月18日（土）ホテルニューオータニ佐賀で、平成25年度第１回九歯連協議会が開催された。長谷九歯連理事長の挨拶では、「我々が担っている国保組合の問題はここ数年全く解決されずに重荷となっている。定率補助のカットは受け入れられないので全歯連、全協としっかり連携を取って九歯連の活動を行っていく所存である。各県とも健全かつ円滑な運営を図るために組織機能及び財政基盤の確保がますます重要になってくる。被保険者の健康増進に勤めていかなければならず、この会議を通して情報交換、情報を共有することで組合の発展に寄与できればと考える。」と述べた。続いて議長に寺尾氏（佐賀）、副議長に長尾氏（大分）が指名選出された。庶務報告、会計報告、監査報告に続いて、協議に移った。

（１）平成24年度各県組合の決算状況

大分県：歳入では１億円の繰入。単年度決算では、9,900万円あまりの赤字。

長崎県：歳入では、本年度から医療分保険料の所得割保険料算定の収入を診療報酬から歯科医業収入に変更し、賦課率を４/1000から６/1000に変更し、5,700万円の増収となった。また、介護分保険料と後期高齢者支援金分保険料も値上げした。対象者の減少により原爆医療費の支出が減ったため補助金が無くなった。保険料の引き上げと支払準備積立金から１億3,500万円繰入して何とか運営が出来た。歳出では、療養給付費は前年を上回り、高額療養費とともに年々増加傾向にある。単年度決算は１億1,600万円あまりの赤字で、平成20年度以降毎年度赤字が続いており、高齢者医療制度が現状のままならば医療分保険料を毎年引き上げないと運営が出来ないのではと危惧している。本年度も5,000万円の法定積立金の取り崩しを行うため限界に近づいている。

福岡県：一人当たりの保険料は高め、療養費も高め。歳出では、将来の前期高齢者納付金の伸びが一番危惧される所である。単年度決算では1,500万円の赤字となっている。次年度以降は、赤字額が膨らんでいくと考えている。

熊本県：歳入では繰越金は２億6,000万あまり、歳出では、後期高齢者支援金・前期高齢者納付金・介護納付金の三つの拠出金で歳出の47.6％を占めており、１億1,973万円あまりの単年度赤字となっている。平成22年度より単年度赤字が続いており、今後の補助金の減額も視野に賦課方式を含めた保険料の改定が必要と考える。

鹿児島県：前年はかろうじて黒字であったが、本年度は5,298万あまりの赤字となった。平成24年10月より所得割保険料の算定基礎を医業収入に変更し、複数開設の法人事業所に対しては従たる施設の管理者を甲種組合員とし、それぞれの施設に事業所得割保険料を賦課し歳入増を図った。歳出では、保険給付費、後期高齢者支援金、前期高齢者納付金、介護納付金いずれも前年を上回っている。

宮崎県：単年度決算で4,000万円の赤字で、原因はほぼ前期高齢者納付金の伸びによるもの。法定積立金額は限界に来ている。

佐賀県：単年度決算は、886万円あまりの赤字。特別積立金は、96.91％となっているが、25年度に100％の保有率にした。

（２）平成25年度各県運営状況

大分県：４月から11月までの保険給付費が予算の範囲内で推移している。保険料を各組合員一律2,000円アップしたので今の所堅調な推移と考える。

長崎県：医療保険分は、甲種、乙種、家族の均等割のアップと所得割を６/1000から８/1000に引き上げ、最高限度額も42万円から

56万円にアップした。被保険者は平成20年度以降毎年減少傾向にある。本年度の療養給付費・高額療養費とも11月分まで、過去３年間の月平均を下回る額で推移している。

福岡県：被保険者数が減少、特に甲種・乙種とも家族の減少が見られる。本年度は、保険給付費は低めに推移。

熊本県：受診率、一件あたりの点数とも前年を下回り、療養給付費・高額療養費も予算の範囲内で推移している。

鹿児島県：被保険者数が81名減、中間期で前年より歳入は減、歳出は増加しており、来月には定期預金の取り崩しを検討しなければならず、厳しい状況となっている。

宮崎県：前期高齢者納付金が前年より一億円増加、保険料の値上げを行い8,000万円の歳入増となり、予備費の削減等何とかやり繰りをしている。来年度への繰越金の大幅減を危惧している。

佐賀県：被保険者数は減少、療養給付費・高額療養費の給付が財政を圧迫しており、今後の医療費の推移が気になる所である。

（３）平成26年度各県予算編成方針

大分県：昨年保険料の値上げを行ったので、変更なし。

長崎県：医療保険料は、変更なし。生活習慣病予防のパンフレット配布の継続。

福岡県：特に変更なし。出産育児一時金の二子以降の10万円加算の廃止。葬祭費の変更。保険者機能の強化としてジェネリック医薬品希望シールを作成、柔道整復のパンフレット配布予定。

熊本県：勤務医・従業員・家族の保険料を変更、甲種組合員の所得割４/1000上限40万円の導入などで保険料の増収を図る予定。

鹿児島県：後期高齢者支援金分保険料を別立て徴収。均等割の値上げと所得割を７/1000から８/1000に賦課限度額を40万から50万に変更。

宮崎県：保険料は変更なし。自家診療の給付制限（甲種家族は給付しない、乙種本人のＰ治療も給付しない）。前期高齢者の医療費を抑制するよう努力している。

佐賀県：保険料は変更なし。所得割の算定基準を医業所得への変更を検討。19歳以上の乙種家族へ歯科健診補助を導入。

提出協議題は無く、閉会となった。閉会後は、佐賀県鳥栖市の「九州国際重粒子がん治療センター」の十時忠秀理事長の講演があった。　（国保組合　桑田　和明）

特集

第３回熊本城マラソン

インレー脱離軽量化

マラソン当日の朝、県歯会館隣のセブンイレブンで赤飯おにぎりを購入し、食べていたらゴールドインレーが脱離した。「口の中が軽量化されタイムが速くなるかも？」と先生方に言われ、超ポジティブに心の中で「金が取れた！（金メダルではないが…）いいことがありそう！」と思うようにした。ダツリした窩洞が気になり舌が落ち着かず呼吸はしにくいし、食べたバナナは詰まるしいいことはなく、35km地点過ぎからは「誰だ！フルマラソンを考えたのは!!」と思いながら痛い脚をかばい最後まで走った。「初マラソン５時間以内で完走」という自分の目標をクリアし、

達成感に満ち溢れ、お世話になったすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいになった。こういう気持ちになれたことがきっといいことだったのだろう。翌日よく乾燥してインレー再セットできた。　（宇治　信博）

楽しめた、人生２回目のフルマラソン

走りました、第３回熊本城マラソン(フル)！

人生２回目のマラソンは、天候にも恵まれた穏やかなものとなりました。タイム自体は昨年とあまり変わらず、残念ながら特に進化は見られませんでした。(汗)

しかしながら今年のマラソンでは、マラソンに絡んで旧友と28年ぶりに再会することが出来たり、楽しく走れる距離がより伸びたりと、嬉しい楽しいマラソンとなりました。もちろん、走りながらの沿道の方々とのハイタッチも、より多くの方とさせていただき、楽しめた有り難い時間を過ごすことが出来ました。今後も楽しんで走りたいと思いつつ、この経験を公私ともに活かして、今後も充実した日々を送っていきたいと思っています。

（林　昭宏）

伴侶と共に完走

この日の為にカミさんと二人三角岳を縦走し、御所浦での烏峠登山マラソン（5.4キロ）に参加、またある休日は月出の自宅から小萩山～金峰山の７時間の走り込みをして大会に備えたが本番では20キロ通過が３時間もかかり、ここで６時間内での完走は諦め、膝・腰を痛めないように“得意のチンタラ走！”で約２千人をゴボウ抜き！（６時間オーバーの人は９割以上歩いている）で６時間38分、予定通りカミさんと手を繋いでゴール!!

自己ワースト記録でしたが、なんとか制限

時間内に夫婦揃って完走できたので、67歳の私としては満足な結果でした…

（奥田　良樹）

やはり30キロの壁

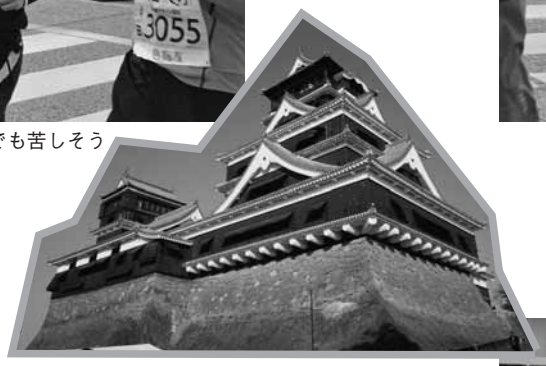
３回目の熊本城マラソンも無事完走できた。当日は幸い天候にも恵まれ、絶好のランニング日和であった。記録は４時間22分で、第１回、第２回と回を重ねるごとに少しずつ記録は速くなってきてはいるが、目標の４時間切りには、程遠い結果となった。ここらあたりが私の限界かもしれない。今回も30キロを過ぎると足がピクピクとしだし、いつ足がつるかと心配しながら、ペースを落とす。やはり30キロを過ぎるとかなり足がきつい。

しかし、今回のマラソンもゴールすれば、それまでのきつかった記憶は忘れ去られ、楽しさと完走した達成感だけが記憶に残っていく。これが、マラソンなのだ。

（川瀬　博美）

早～い渡辺会員、でも苦しそう

今回は本気の
宮田会員



足を負傷の田上常務

楽しんで走る林会員

走りこみ不足で臨んだフルマラソン

4時間1分27秒。目標にしていた3時間45分には及ばなかった。身長168㎝・体重69キロ（健康体重7キロオーバー）例年のごとく走りこみ不足でフルマラソンに臨んだが、当日は調子良く30キロまでは快調に飛ばした。その後も沿道からの温かい声援を背に気持ちよく走っていたが、35キロを過ぎた頃足の筋肉が4箇所で攣り始め、悪夢が始まった。その後は痛みと闘い、歩くのが精一杯だった。奥田師匠に「マラソンは、練習した分しか力が出せない。」と言われていたが、心の中では奇跡は起きる！と信じ、夜な夜な飲み歩きイメージトレーニング中心の生活だったことを反省。今回身をもって経験したこの悔しさを噛み締め、来年に向けてきちんとトレーニングを積み、減量し、しっかり走り出そう！と決意したところです。献身的なスタッフ・ボランティアの皆様、AED隊の皆様、沿道から応援をしてくださった方々、本当にありがとうございます。

（町田宗一郎）

自己ベスト3時間45分

3回目となった熊本城マラソンだが、昨年抽選に漏れ2年ぶり2度目の出場でした。2年前は10年ぶりのマラソンと言う事もあり最後の10㎞は、歩いたり走ったりと完走するのがやっと。とてもきつい苦い思い出です。それから歯科医師会の仲間と共にマラソンの練習を続けて来て、スピード、スタミナを付けました。おかげで、今年のマラソンは前回より2時間早く自己ベストの3時間45分で終わる事が出来ました。51歳のこの歳になり、老化に打ち勝ちさらに記録を伸ばせる喜びを味わう事が出来るのはマラソンの大きな魅力でしょう。他のマラソンと違い地元熊本市でのマラソンは沿道の声援も、見慣れた景色も、共に走る多くの知合いもいて感慨深いものでした。熊本城マラソンはいい！また来年も参加出来ればなと思います。

（小野　秀樹）

ただただ　疲労困憊　満身創痍のゴール

月間200キロ、トータル2000キロ以上走りこんでの熊本城マラソン挑戦だったが、それでもなお、42.195キロは山の様にそびえ立っていた。25キロ地点での右足首の違和感は28キロ地点では激痛にかわり、ほとんど左足だけで何とかたどり着いた30キロ地点。今度は左足のハムストリングがプルンプルンと震えだし、肉離れの予感。ついに走ることを断念して、完走の一文字を合言葉に歩行に切り替え。心の中では、勇気ある半歩後退などと、自分に言い聞かせたものの、実際には一歩も走れない状態…。普通に歩いても左足首の激痛と右ハムストリングのプルンプルンは容赦なく襲ってくる。いろんな恰好での歩行を試したが、四つん這いの方が楽だったかも？？？ゴールが近づくにつれ、私の頭をかすめるのは山口百恵のあの歌。そう！「これっきりこれっきり　もお　これっきり　ですよ～～～！」5時間33分の壮絶なドラマは無事終わった。

（田上　大輔）

山鹿市歯科医師会

来賓多数で盛会

— 総会・新年会 —

宮坂副会長の説明

１月18日（土）午後４時より山鹿市歯科医師会総会及び新年会が山鹿の「寿三ホテル」で行われた。

総会では、神山久志山鹿市歯会会長の挨拶の後、県歯の宮坂圭太副会長より、平成26年の熊本県歯科医師会と日本歯科医師会の動向について説明がなされた。

総会に引き続いて行われた新年会では、中嶋憲正山鹿市長、幸村克典鹿本郡市医師会会長、江上祥一山鹿地区薬剤師会会長、渕上陽一県議、早田順一県議、山本心太坂本哲志衆議院議員秘書、藤原弘山鹿市議会議長に来賓で御参加頂いた。山鹿市歯科医師会の会員と植木地区の旧鹿本郡市歯科医師会会員の先生も御参加頂いた。今回は４月からの消費税率ＵＰや同月行われる予定の点数改定、学校歯科のフッ化物洗口事業について話題になった。

木庭健雄山鹿市歯会副会長が今年は消費税率ＵＰや点数改定など変化が多い年だが、山鹿市歯科医師会と医師会、薬剤師会、行政、お互い連携して今年も１年頑張ろうと三本締めで会を終えた。

（小林　　聡）

阿蘇郡市歯科医師会

極寒の夜宴

— 新年会 —

１月18日（土）午後５時より阿蘇市一の宮「つるや旅館」において阿蘇郡市歯科医師会新年会が行われた。当日は雪が舞う寒い日だったが開始時刻には全員集合！新年会がスタートした。

武藤専務の司会で、市原会長の挨拶のあと来賓の佐藤雅司県議、堤泰宏県議、阿蘇郡市医師会の古閑宏副会長、阿蘇郡市薬剤師会の下村光一会長よりお言葉をいただき、県歯の八木義博常務理事の乾杯の御発声で宴の幕が上がった。夕方になってかなり冷え込んできたため、温かいお酒の進みが早い中、料理もおいしくいただきながら皆さんいろんな話題に花が咲いていたようだ。最後は甲斐田常務の一本締めでお開きとなった。その後は極寒の阿蘇の夜であったにもかかわらず新年会の夜は長く続いたようだ。

（馬谷　　真）

熊本市歯科医師会

内容豊富な新春の集い

― 新春懇親パーティー ―

毎年恒例となっている熊本市歯科医師会新春懇親パーティーが、１月18日（土）午後６時30分から開催された。154名の出席者を得て熊本全日空ホテルニュースカイ６階「アルシェ」にて盛大に行われた。宮本格尚会長の挨拶の後、出席した７名の新入会員が壇上に上がり自己紹介を行った。

次に来賓としてお迎えした福島敬祐熊本市医師会会長、幸山熊本市長代理　宮本邦彦健康福祉こども局局長、小島博文県歯副会長にお言葉を頂戴した。続いて功労賞の表彰を行った。今回、牧野敬美会員、片山幹夫会員、菅原洋会員、岡田知久会員が受賞され、受賞者を代表して菅原洋会員より祝辞が述べられた後、古賀明元熊本市歯会長の乾杯の御発声の後、宴会となった。

宴もたけなわの中、今年も熊本城マラソンに、熊本市歯会より出場される会員が壇上で意気込みを語った。またAEDを担いで自転車でサポートする会員を代表して渡辺猛士副会長もサポートの重要性を語った。

そして今年は抽選会が行われ、宮本会長に参加された会員の名前を記入したくじを引かれ、27名の会員が豪華賞品（？）を獲得した。

今年のマラソンの勇者たち

楽しい時間が過ぎるのは早く、赤星顕生熊本市薬剤師会副会長の締めのお言葉によりお開きとなった。去年に引き続き熊本全日空ホテルニュースカイにて新春懇親パーティーを開催した、至らない点も多かったとは思うが、心優しい執行部・会員の協力により、無事開催できた事をこの場を借りて御礼申し上げる。

（長　　忍）

球磨郡歯科医師会

歯科からの要望

― 新年会 ―

球磨郡歯科医師会では、１月25日（土）午後７時より衆議院議員金子恭之氏、参議員議員松村祥史氏の両議員を迎えて新年会を開催した。両議員の挨拶の後、終始和やかな雰囲気で懇談は進み平成26年４月より施行される保険点数改定の話題に始まり、行政によるこれからの歯科医療の方向性や介護保険における口腔ケアの必要性、がん患者に対する口腔ケアによる医科との連携など歯科の立場で説明した。酒を酌み交わし、時に笑いを交えながら多種にわたり談笑した。また、松村議員は石井みどり議員と同会派に属され、石井議員の知られざる活躍や活動内容など、はたまた武勇伝などなど詳細にお話頂き、大変有意義な新年会だった。（塚本　卓也）

終始和やかな雰囲気で

宇土郡市歯科医師会

長年の地域への貢献を称えて

— お祝いの会 —

１月25日（土）午後６時より熊本市の懐石料理　草喰「常」において、このたび中野敬輔会員が文部科学大臣表彰受賞に伴うお祝いの会を開催した。はじめに中村会長より「昨年の古希のお祝いに続き、このたび二度目のお祝いということでおめでたいことが続き私たちも大変嬉しく思います。」とあり、引き続き県歯の浦田会長より「長年の地域への貢献が称えられましたこと、一後輩として大変嬉しくお祝いを一言述べたいと思い参りました。」と、昔の中野会長時代の思い出話などを交えながら、お祝いの言葉を述べられた。中野会員は「気がつけば、もうかれこれ30数年たってしまったのかという感じです。このような表彰をいただき、また皆様にお祝いをしていただき、まだまだ頑張っていくぞっ！　と励みになりました。仕事はほぼ息子に任せ、趣味のゴルフと麻雀をこれからも元気の秘訣として続けていきたいと思います。」と中野会員らしいユーモアのある口調で笑いを誘った。

元気の秘訣は趣味を続けることと中野会員

続いて、会を代表して中野会員へ長山裕子会員より記念品の贈呈があり、田中副会長の乾杯の挨拶で祝賀会が始まった。中野会員を囲んで先輩後輩お酒を酌み交わしながら楽しい時間が過ぎていった。最後に、県歯八木常務理事の一本締めにて会はお開きとなった。

（坂口　泰子）

玉名郡市歯科医師会

出席者の健康と活躍を祈念して

— 新年会 —

１月24日（金）午後６時30分から「司ロイヤルホテル」にて、18名の来賓をお迎えして玉名郡市歯科医師会新年会が盛大に開催された。

まず初めに森会長より昨今の社会情勢や診療報酬改定など歯科界の実情について挨拶があり、続いて中嶋県歯副会長、高嵜玉名市長からそれぞれの立場で今年の抱負や課題、歯科界への期待など挨拶頂いた。

次に平山玉名郡市医師会長の乾杯のご発声で宴が和やかに始まった。

今回初の試みで髙﨑会員をメンバーとする「ブルースカイ」の生バンド演奏で、森会長と安田副会長が日頃鍛えた美声!?を披露して場を最高に盛り上げた。続いて厚生委員会のアトラクション『会長とのジャンケンゲーム』、『くじ引き』が行われ、神崎会員のノリに乗ったMCで豪華なメロン争奪戦を楽しみ、出席者一同盛り上がった。

「ブルースカイ」による演奏

最後に山本荒歯会会長の閉会の挨拶でお開きになり、良き一年となることを全員で願った。来年も楽しく面白く盛り上がる新年会を厚生委員会に期待します。

（春野　惟一）

菊池郡市歯科医師会

お酒の力でコミュニケーション強化！

― 新年会 ―

１月18日（土）午後７時より、菊池郡市歯科医師会新年会が熊本市の料亭「菊本」にて開催された。少し町中から離れているにも関わらず、会員が世代を問わず40名以上出席し、賑やかな雰囲気の中で新年を迎えることになった。明受専務理事の司会の下、宮川会長より新年の挨拶があり、フッ化物洗口など県行政との連携や郡市歯科医師会への理解と協力を会員に訴えた。来賓として来られた牛島県歯常務理事、上野菊池保健所所長、坂本哲志代議士令室晶江様よりご挨拶を頂き、中山会員の景気のいい乾杯の発声により大宴会が始まった。

その場が持つ力のお陰かただの酒好きの会員が集まっているのか、会員同士がお互い膝を突き合わせて楽しいお酒を楽しまれていたようだ。

菊池郡市歯科医師会は平成26年度に70名程の会員数になるとのことで、会員間のコミュニケーションが難しくなることが考えられるが、この様な機会を通じて会員相互の結びつきを強化し、さらに盛り上がっていくことが出来ると感じた。

40名以上の出席者で賑わった

宴の勢いが収まる様子はなかったが時間ということで、中村悟会員の一本締めにより盛会のうちに終わることが出来た。当然飲み足りている会員は一人もおらず、その後は三々五々と夜の街に消えて行ったようだ。　（工藤謙太郎）

荒尾市歯科医師会

ニーズが高まる予感の「摂食機能療法」

― 荒玉学術講演会 ―

２月15日（土）午後３時より、荒玉学術講演会がホテルブランカにて行われた。

講師には九州歯科大学副学長・付属病院長・老年障害者歯科学分野の柿木保明教授をお招きし、「歯科からみた摂食機能療法の考え方と臨床対応」という演題で約2時間ご講演頂いた。

柿木教授は、健康情報番組にも出演されるほどの口腔機能療法の第一人者で、今回も所用での東京出張から講演前日にお戻りになる予定であったが、関東地方の記録的大雪のあおりを受け、講演数時間前にお戻りになられるという過密スケジュールになったにも関わらず、非常に実践的な内容の濃い話を拝聴することができた。

以下に講演内容でお伝えしたい事項を列記する。

- 口に刺激を加えることが消化管機能の賦活化につながるので摂食機能回復の大前提
- 摂食には捕食・咀嚼・嚥下までが含まれるので歯科の関わりは不可欠
- 嚥下障害（口腔乾燥、口腔周囲筋弛緩、中枢神経系抑制）を惹起する様々な薬剤がある
- 食事の時しか義歯を装着しないのは機能回復につながらない
- 摂食機能療法は可動域の拡大が一番重要（筋肉のマッサージし、摂食嚥下に必要な筋肉を賦活化させる）
- 摂食機能療法は歯科に認められた保険診療であり、臨床の現場にその重要性を伝えていくためには適切な歯科的対応（義歯調整、歯科治療）を歯科以外の関係者に認知させていくことが大切。

摂食機能回復に歯科は大切と柿木教授

（坂田　輝之）

寄　稿

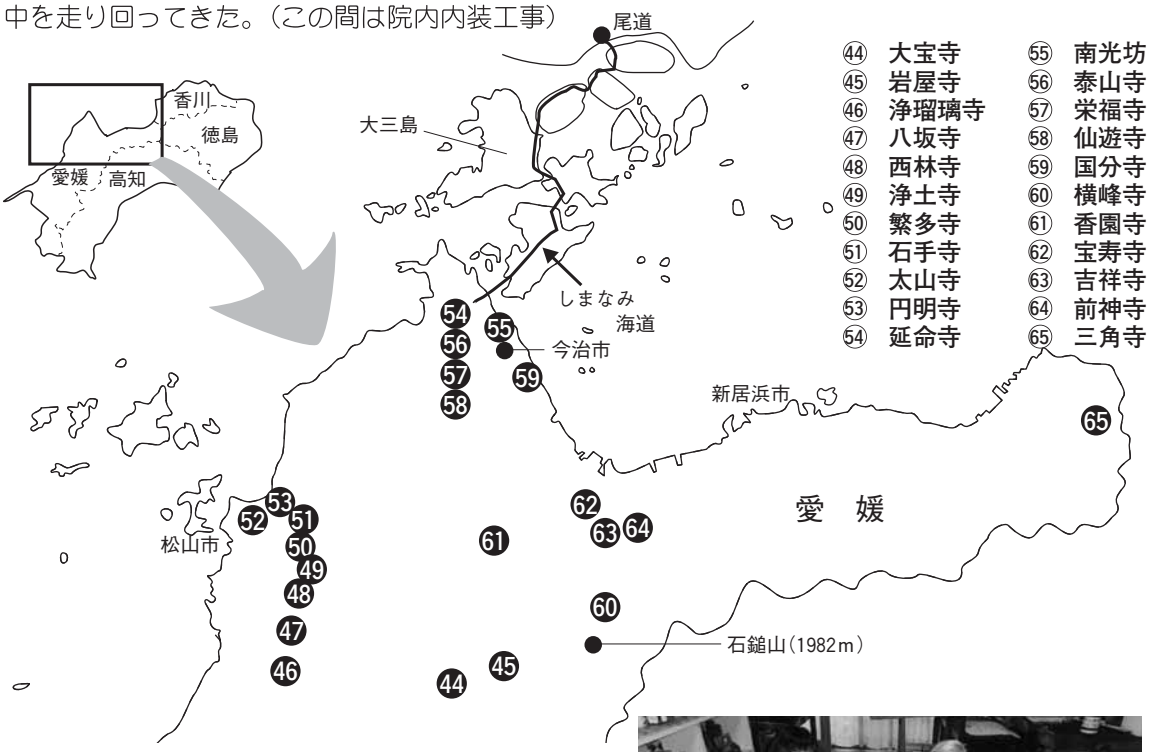
四国八十八ヶ所・お遍路・区切り打ちの旅

（その６）

会員　**奥田　良樹**（熊本市）

「愛媛県一国打ちと石鎚山登山としまなみ海道ママチャリの旅」

平成25年４月27日（土）～５月６日（月）まで間の平日３日間を休診して９泊10日で愛媛県下中を走り回ってきた。（この間は院内内装工事）



「しまなみ海道」100kmを今治のレンタサイクルでママチャリを借り、一泊（大三島）二日で尾道まで走破。（５月５日～５月６日）

「しまなみ海道」は自転車専用の道が整備されていて自転車天国（レンタサイクルは２千円。通行料は500円）。

愛媛県は昭和53年、月出で開業する前の半年間、新居浜のサトウ歯科で歯科修行をした思い出の地。

○愛媛には福岡空港から松山空港へ空を飛んで入った。

○愛媛の札所㊹～(65)はアチコチ点在しているので、ＪＲ・バス・タクシーをフル活用して順不同の変則的なコース巡りをして回った。

４月27日（土） 空港からタクシーで(52)**「太山寺」**。2.6km走って(53)**「円明寺」** ＪＲで松山市内の「ホテルNo松山」泊。

４月28日（日） 松山市内からバスで㊽**「西林寺」**。3.1kmを走って㊾**「浄土寺」**。1.7kmを走って㊿**「繁多寺」**。2.8kmを走って(51)**「石手寺」**。ここから松山市内の「ホテル椿館」まで全歩数41969歩（約29.6km）

今回のお遍路ハイライト！
５月１日民宿「鈴」にて若い女性とオランダの62才の女性と同宿に…英語と日本語と身ぶり、手ぶりの会話３時間！

４月29日（月） 市電で大街道。バスで八坂寺前㊼**「八坂寺」**。0.8kmで㊻**「浄瑠璃寺」**。次の寺まで29kmもあるためバスを乗り継ぎ、20分走って㊹**「大宝寺」**。ここから9.5kmのハードな山登りで㊺**「岩屋寺」**まで３時間かかった。宿はここから２kmの「国民宿舎古岩屋荘」泊。

４月30日（火） 石鎚山（1982ｍ）はお遍路とは別だが、山登りが趣味の１つなのでコー

スアウトして挑戦…ところがこの日は平日で、バスの便がなく、おまけに雨…止むなくタクシーで登山口の土小屋へ。料金11100円！登山道は良く整備されていて危険な所なし。しかし登山者皆無。大きな鎖のある崖は70ｍぐらいだったが、雨ですべって途中で断念。山頂は１℃。残雪が点々と。
石鎚山の下りの途中に成就社。このすぐ横の「白石旅館」に泊る。
翌朝５時から山腹を探訪。アケボノツツジの群生に出会う！

５月１日（水）石鎚山からロープウェイで下山。私１人貸切り。ふもとからの登りのロープウェイには30名程の登山者の行列。
ここから⑥⓪**「横峰寺」**へのバスの便が少なく、タクシー。横峰寺から9.6kmを走り下り⑥①**「香園寺」**。ここは黒く巨大な四角の体育館のような建物の中に大仏と客席が?!⑥②**「宝寿寺」**はどこにでもある質素な寺。このすぐ近くの「同行民宿　鈴」へチェックイン。44125歩(約29.1km)
ここの宿の女将は75才。お遍路は10回めぐり“先達”でお遍路の生き地引。この日はなんとオランダの看護師（62才）の女性と若い大阪と東京の女性と同宿。
だいたいお遍路する人は“多少偏屈”（私も含めて）な人が多かったが、この日はオランダの女性がパワフルで英語・日本語、身ぶり、手ぶりで楽しい一時をすごした。

５月２日（木）この日は山登りの疲れが出るかもと楽なスケジュールを組んだ。⑥③**「吉祥寺」**3.2km⑥④**「前神寺」**。しかし早朝と宿についてからも走ったので45467歩（約32.7km）「湯之谷温泉旅館部」という宿に泊。

５月３日（金）この日はＪＲで今治に出て⑤⑥**「泰山寺」**⑤⑦**「栄福寺」**⑤⑧**「仙遊寺」**⑤⑨**「国分寺」**という変則的なコースを巡り、再びＪＲで伊予三島の宿「大成荘」泊。

５月４日（土）大成荘でオニギリ弁当を作ってもらい山頂にある⑥⑤**「三角寺」**。Ｕターンして ＪＲ移動。今治に再びもどり⑤⑤**「南光坊」**⑤④**「延命寺」**と回って「今治ステーションホテル」泊。これで愛媛県の全ての札所は回ったことになる。

５月５日（日）４時起床。今治市内をゆっくり観光ラン。朝からビール！今治駅横のレンタサイクルでママチャリゲット（対岸の尾道で乗り捨てＯＫで２千円)。昔20年ほどトライアスロンを経験していたので楽勝と思ったが尻が痛くなりボロボロで中間地点の大三島の宿「茶梅」ゴール。５時間。近くの公園は藤の花が満開！

５月６日（月）宿を７時すぎ出発。ママチャリは登り押し歩き、下りはジェエットコースター。尻はサドルに座れないほど痛かったが、橋の上からの景観はサイコー。無事尾道着。尾道ラーメンとビールで１人乾杯！ここから福山に出て新幹線で帰熊。

４月29日朝６時道後温泉には約60人の行列が…

５月５日～６日このママチャリで100km！ギア無しのため登り押し上げ歩き…

４月30日石鎚山(1982ｍ)の登山道には残雪が…

山頂の気温１℃。早々に下山

私のお遍路スタイル
これに８kgのリュックと2本の杖（スティック）

お知らせ

※ 安心・安全歯科医療推進制度

平成20年度より発足しました「安心・安全歯科医療推進制度」も現在３期目となりました。ご存じのとおり、この制度は自ら一定基準を設けて、安心・安全な歯科医療を提供するように努力していること、学術的研鑽を行っていることを、県民や地域社会に対してアピールし、より信頼を得られることを目的とした本県独自の制度です。制度は２年ごとの更新となりますので、前期基準達成証を獲得した歯科医院も再度基準をクリアし、基準達成申告書を提出する必要があります。

（※満75歳以上の会員については、申請により安心・安全推進歯科医院の更新を免除します。）

前期獲得できなかった歯科医院は、是非今期（平成24年４月～平成26年３月まで）基準達成証を獲得してください。

なお、詳しい内容については、安心・安全歯科医療推進制度の手引きをご覧ください。

（手引き・各種申請書などは県歯ＨＰの会員専用ページでもダウンロードできます）

（学術委員会）

※ 点数改定説明会の開催について

本年４月から実施されます診療報酬改定に伴う説明会を、下記のとおり九州厚生局、県国保高齢者医療課と共同で開催いたしますのでお知らせいたします。

日　時　　平成26年３月28日（金）　午後６時30分～
場　所　　熊本県立劇場　コンサートホール
（熊本市中央区大江２－７－１　TEL096－363－2233）

（社会保険委員会）

H.26.3

会　務　報　告

自　平成26年１月27日
至　平成26年２月23日

所管	日付	摘要	出席
総　務	１月28日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本市国際交流会館）	中嶋副会長
		県警察本部鑑識課との打ち合わせ 県警察本部捜査一課・各警察署刑事課との連携（１）名称の決定（２）連絡体制の確立（３）研修計画	小嶋副会長、伊藤学院長、牛島常務理事、矢毛石会員
	29日	第８回理事会 【承認事項】（１）新入会員の承認（２）名義後援使用許可 （３）熊本県体育協会からの免税募金依頼 【議　　題】（１）平成25年度第２回臨時代議員会会務報告 （２）平成25年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書案 （３）平成26年度熊本県歯科医師会会計収支予算書案　ほか	浦田会長他全役員、伊藤学院長
	30日	県歯科技工士国家試験委員会（県庁）	牛島常務理事、井上理事、堀川委員長、片山副委員長
		第５回県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（県庁）	小島副会長
	２月１日	くま歯キャラバン隊（水俣・芦北郡市）（水俣市・あらせ会館） 水俣葦北地域歯科保健連絡会研修会	田上常務理事
	２日	日本プライマリ・ケア連合学会第９回九州支部総会・講習会 （くまもと森都心プラザホール）	浦田会長、小島副会長、松本理事
	４日	第15回常務理事会 （１）平成25年度第２回臨時代議員会タイムスケジュール （２）終身会員・名誉会員・顧問及び嘱託に関する規程並びに表彰規程の見直し （３）会員懇談会の通知内容　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	６日	県医療安全推進協議会（県庁）	渡辺専務理事
	７日	第７回医療・保健・福祉連携学会第４回企画委員会（県医師会館）	小島副会長
	10日	熊本市歯会北部第２支部新年会（熊本市）	浦田会長
	13日	徳永九州看護福祉大学口腔保健学科長との面談	浦田会長
		本会事業・会計監査 Ｈ26．１月末現況監査、第77回全国学校歯科保健研究大会決算見込み監査	久々山・西野監事、浦田会長、中嶋副会長、八木常務理事
	14日	県老人クラブ連合会第２回健康・生きがいづくり支援事業推進委員会（県総合福祉センター）	宮坂副会長
		支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
		熊本地域リハビリテーション支援協議会総会・特別講演	小島副会長
		くま歯キャラバン隊（天草郡市）（ホテルサンロード）　受講者：27名	河原学歯委員長
	15日	九州各県会長会議（宮崎観光ホテル）	浦田会長
		九地連協議会（宮崎観光ホテル）	浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、八木・牛島常務理事、澤田事務局長
	16日	九州各県事務局長連絡会（宮崎県歯会館）	澤田事務局長
		県地域医療支援機構設立記念シンポジウム（熊本テルサ）	宮坂副会長、渡辺専務理事
	18日	くま歯キャラバン隊（上益城郡）（御船カルチャーセンター）　受講者：14名	井上理事
		損保ジャパンとの懇談会（熊本市）	浦田会長、小島・中嶋副会長、渡辺専務理事、八木・牛島常務理事、澤田事務局長
	19日	第16回常務理事会 （１）平成25年度臨時代議員会日程資料（２）平成25年度臨時代議員会の会務報告 （３）平成25年度会員懇談会の会務報告　ほか	浦田会長他田上常務理事を除く常務理事以上全役員
	20日	支払基金本部千村審議役来館	中嶋副会長
		中規模県歯会連合会会議（アルカディア市ヶ谷）	浦田会長、渡辺専務理事
	21日	県歯科技工士国家試験実地試験（熊本歯科技術専門学校）	堀川委員長
		第117回都道府県会長会議（日歯会館）	浦田会長
		第２回県災害医療提供体制検討委員会（県庁）	牛島常務理事
	22日	月次監査　１月末会計現況監査	久々山・西野監事
		新入会研修会（施設基準届出に係る研修会） 受講者：53名（新入会員23名、新入会員以外30名）	浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、冨屋・井上・田中・椿理事、松岡センター長
		各郡市災害対策担当者会	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、牛島常務理事
学　術	２月９日	松風共催学術講演会 出席者：218名 講師：（千葉県市川市開業）むらおか歯科矯正歯科クリニック　村岡秀明先生	浦田会長、小島副会長、牛島常務理事、井上理事、堀川委員長他３委員
社会保険	１月27日	社会保険個別相談会　相談者：１名	田中委員
	２月５日	レセプトチェックセンター 相談者：５名（来館・１名、電話・１名、FAX・３名）	田中理事
	５日	社会保険小委員会 （１）保険診療ハンドブック	田中・椿理事、清水委員長他３委員
	13日	保険個別指導（ＫＫＲホテル）	金本副委員長、南・田中委員
地域保健	２月５日	地域保健小委員会 （１）各郡市地域保健担当者会（２）糖尿病・歯周病医療連携事業	田上常務理事、城副委員長他５委員
	６日	日本銀行熊本支店事業所健診（日本銀行熊本支店） 受診者：20名	山根会員
	19日	標準的な成人歯科健診モデル事業（熊本日日新聞社） 受診者：16名	二宮委員
	21日	くまもと21ヘルスプラン推進委員会及び県地域・職域連携推進協議会（県庁）	田上常務理事

所管	日付	摘要	出席
地域保健	2月22日	各郡市地域保健担当者会 （1）糖尿病・歯周病医療連携	浦田会長、渡辺専務理事、田上常務理事、川瀬委員長他7委員
広　報	1月30日	広報小委員会　（1）会報2月号・第2回校正	加藤理事、佐藤委員長他1委員
	2月10日	テレメッセ打合せ　（1）2月27日（木）放送分	加藤理事
	17日	広報委員会　（1）会報3月号・編集	加藤理事、佐藤委員長他全委員
学校歯科	1月29日	むし歯予防の学習会（八代市大田郷公民館） 主催：NPO法人子育て支援ワーカーズぺぺぺぺらん	宮﨑委員
		「児童生徒の心と体の健康づくり推進事業」推進委員会及び報告書作成委員会 （県薬剤師会館）	大林理事
	30日	学齢期歯科保健講演会（合志市ヴィーブル） 受講者：103名	宮川会長、明受会員、田中委員（菊池郡市）
	2月1日	沖縄県歯会学校歯科保健研修会（沖縄県歯会館）	大林理事
	5日	「フッ化物洗口の講演会」を行うための学校歯科医研修会 受講者：100名	宮坂副会長、渡辺専務理事、大林理事、河原委員長他全委員
	6日	学齢期歯科保健講演会（芦北地域振興局） 受講者：70名	藤崎会長・若江会員・出来田会員（水俣芦北）
		歯及び口腔の健康づくり指導（錦町役場）　町内教職員研修	黒仁田会員、磯田衛生士
	7日	学齢期歯科保健講演会（天草宝島交流会館ポルト）　受講者：155名	山本会長・松田会員（天草）
		県学校保健会総務委員会	浦田会長
	8日	むし歯予防の学習会（鹿北市民センター） 主催：NPO法人子育て支援ワーカーズぺぺぺぺらん	小林会員
	10日	県健康づくり県民会議（県庁）	大林理事
		学齢期歯科保健講演会（鹿央総合支所） 受講者：59名	宮坂副会長、河原委員長、神山会長（山鹿）
	12日	日学歯加盟団体長会（日歯会館）	浦田会長
		歯及び口腔の健康づくり指導（水上村岩野公民館） 水上村学校健康教育委員会	梁会員、磯田衛生士
	17日	第77回全国学校歯科保健研究大会第2回実行委員会	浦田実行委員会会長、渡辺実行委員会委員長他29委員
	20日	県PTA教育振興財団審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
医療対策	2月5日	医療対策小委員会 （1）事例振り分け	冨屋理事、岡田委員長他1委員
	19日	医療対策委員会 （1）事例報告検討（2）平成26年度医療対策講演会（3）医療苦情の通知書 （4）委員提出協議題（5）理事報告	冨屋理事、岡田委員長他全委員
センター・介護	1月30日	在宅歯科医療推進事業打合せ　アンケート調査	松本理事
	2月8日	県障がい児（者）歯科保健推進協議会	浦田会長、田上常務理事、松本理事、平井委員長他2委員
		在宅歯科医療推進事業打合せ アンケート調査	田上常務理事、松本理事他4名
	22日	在宅歯科医療推進事業施設実習（原土井病院）	宮坂副会長、松本理事、平井委員長、山田副委員長
	23日	在宅歯科医療推進事業施設実習（原土井病院）	宮坂副会長、松本理事、平井委員長、山田副委員長
総務・厚生・医療管理	2月5日	がん連携運営協議会（熊本市民病院）	牛島常務理事
	6日	がん連携運営協議会 がん連携（くまもと森都総合病院歯科口腔外科・大林武久先生）との打合せ	牛島常務理事
	14日	がん連携運営協議会（熊大口腔外科）	渡辺専務理事、牛島常務理事
	18日	病診連携運営協議会（熊本託麻台リハビリテーション病院）	牛島常務理事
学　院	2月1日	学院戴帽式 49期生：53名 来賓：13名	浦田会長、伊藤学院長他2名
	8日	学院一般一次・社会人入学試験	伊藤学院長他2名
	12日	第3回学院入学試験委員会	伊藤学院長他5名
	14日	第4回学院役職員会	伊藤学院長他2名
	15日	学院一般一次・社会人合格者発表 合格者10名	
	18日	第4回学院教務委員会	伊藤学院長他6委員
国保組合	1月29日	国民健康保険指導監督	上野副理事長、桑田常務理事
国保組合	30日	第5回国保理事会 （1）平成25年度補正予算（案）（2）規約および規程一部改正（案） （3）平成26年度事業計画　ほか	浦田理事長他全役員
国保組合	2月7日	全協事務（局）長研修会（東京・全国町村会館）	田代課長補佐
	17日	国保組合監査	原田・片山監事、浦田理事長、桑田常務理事
		第6回国保理事会 （1）保険給付規程一部改正（案）（2）平成25年度通常組合会	浦田理事長他全役員、犬束副議長
	20日	第5回全協理事会（八重洲富士屋ホテル）	浦田理事長

事業課からのご案内

その1

団体定期（歯科医師会専用グループ保険）のご案内

保険期間　平成25年8月1日から1年間（中途加入できます）

★最高「２８００万円」保障！無診査で加入 OK！
★配偶者も１０００万円まで加入 OK！
★１年更新で配当金は加入者へ還元！
★個人保険より団体保険が安い！
★入院保障も１日１５,０００円まで OK！

団体定期保険は歯科医師会が契約者になり保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。是非ご加入下さい！

その2

個人でご加入の保険も保険料納付は団体収納扱いでお願いします!

下記の保険会社と団体収納契約をしておりますので、歯科医師会の口座引落しがご利用できます。
保険料が団体割引でお安くなります。ご加入の保険内容に影響はありません。
手続きは簡単です。事務局が代行します。是非ご利用下さい！

かんぽ生命	第一生命	住友生命
日本生命	T&D フィナンシャル生命	明治安田生命
朝日生命	富国生命	アメリカンファミリー生命
メットライフアリコ	NKSJひまわり生命	三井生命

＊詳細につきましては 県歯事務局 TEL:096-343-8020 担当　田尻 までご連絡ください

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
March 2014 No.695

笑顔ヘルC 8020歯からはじめる

くまもとサプライズキャラクター『くまモン』
©2010 熊本県くまモン #1086

4 行事予定 April

2日(水)	第18回常務理事会
10日(木)	学院入学式
15日(火)	第19回常務理事会
23日(水)	第11回理事会

編集後記

今年、3回目となる熊本城マラソンが、2月16日(日)に開催された。毎年会員の勇姿をカメラに収めたいと走る方ではなく写真撮影で参加している。交通規制がある中、どこで待ち構え会員の姿を捉えるか毎回非常に悩まされる。1回目は、初めてということもあり、表紙写真を狙いランナーの全体像を取るため、スタートして間もなく通る場所で待機、全体写真は撮れても、個人を見つけられず。集団で通り過ぎられ、結局35キロ付近で待つも思った写真は撮れず。2回目は、場所を移動しすぎて満足な写真は撮れず、一万数千人の中から二十数名の会員を見つけることはかなり難しい。3回目の今回は、多くの集団の中では見つけることは無理であると判断し、最初から35キロ付近で早めに待機。しかし問題はある、元気に走られている姿を収めたいところであるが、この付近ではかなり苦しそうな姿しか収められないこと、残念。それも終盤になると会員の表情も変わり、いつも見慣れた顔と違い、ひと目では発見できず、しばらく見つめてわかると言った具合だ。サングラスなどされているともうお手上げだ。見つけたら先回りをし写真に収める。今回はいつもより会員の勇姿を収められた。撮れなかった会員の皆様、ゴメンナサイ。来年は、わかりやすい服装でお願いします。(HK)

■発行日／2014年3月17日発行 ■発行人／浦田 健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020 FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷